

中町中学校だより 丘山通信



令和6年度 12月号
多可町立中町中学校
令和6年 12月3日（火）発行
<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>
電話 32-0009 文責：校長 神崎

いのち、そして、生きること・・・

学校長 神崎進吾



生徒朝会（校長講話）

思春期真っ只中の中学生の中には、「いのちや生きること」について、思い悩む生徒も珍しくありません。11月18日（月）、生徒朝会では、「いのち・生きること」をテーマに、次のような講話をしました。

普段は、そんなことは考えもしないかもしれませんが、やはり「自分の大切な人を亡くしたとき」には、「いのちや生きること」について考えることでしょう。

私は、昨年の12月に父親を亡くしました。83歳と高齢で、体調を崩しており病院に入院していました。その間、何度となく病院からの呼び出しがあり、その度に何とか命を取り留めるということを繰り返していました。そして、昨年の12月22日、病院から真夜中に危篤の知らせを受け、私は急いで駆けつけました。私が病室に入り、付き添っていた私の母親が「進吾、来てくれたで」という言葉を父親にかけた途端、病室にあった心拍モニターの波動が消え、ビーという大きな警告音が鳴り響きました。きっと、私が来るのを待っていたのでしょう。看護師さんが私に「何か声をかけてあげてさい。まだ、聞こえていますから」と声をかけて下さいました。人間は心臓が止まっても、しばらくの間、意識があるのだそうです。私がとっさにかけた言葉、出てきた言葉は一つだけでした。「ありがとう。今までありがとう。ほんまにありがとう。」

私も50代の半ばを迎えるまでに、多くの大切な人を亡くしました。大学時代に一番仲の良かった親友を、50才の時に失いました。「人生100年、俺たちもいよいよ人生の折り返しやな」と言っていた矢先でした。スキルス性の胃がんでした。亡くなる3ヶ月前に、仲間が集まって彼のために同窓会を開きました。彼は息子さんの大学合格を見届けて、亡くなりました。

こうやって、きちんとお別れできることばかりではありません。突然のお別れもあります。中学時代にテニス部でペアを組んでいた一番の親友を、20才の時にバイクの事故で失いました。駐車場から飛び出してきた車を避けようとしての転倒事故でした。また、大学時代仲の良かった登山仲間を、25才の時に冬の北アルプスの遭難事故で亡くしました。捜索隊を組んだり、捜索ヘリを飛ばして探しましたが見つかりませんでした。見つかったのはGWでした。雪崩に巻き込まれたことが後からわかりました。

自分のいのちが、いつなくなるかは誰にもわかりません。では、生きることの意味って何なんだろう。答えを求めていた私にヒントを与えてくださったのが、聖路加病院の名誉院長であった故日野原重明先生の言葉です。

日野原先生は、百歳を越えても現役の医師として活躍されました。また先生は、いのちの大切さを考えてもらうきっかけとして、小学生の子どもたちに「いのちの授業」を開催されていました。

「いのちはどこにありますか？」全国の小学校を訪れ十歳の子どもたちに、先生はそんな質問を投げかけます。多くの子どもは自分の心臓を指差しますが、日野原先生はこう言います。「心臓は酸素や栄養を含んだ血液を脳や手足、そして内臓に送り届けるポンプです。生きるために大切な臓器だけど、

いのちではありません」。では、いのちとは何でしょうか？ 日野原先生はこう話されます。「いのちとは私たちが自由に使える時間なのです。いのちも時間も目には見えないけれど、使う事ができます。時間を使うことでいのちが形となります。この世に生まれてから死ぬまでのその人に与えられた時間。それがいのちです。肝心なのは自分のいのちである自分の時間を有意義に使うことです。」「君たちが大人になった時に、日々どうやって大切ないのちの時間を使っているかをもう一度考えてください。子どもたちは勉強や遊びに自分の時間を費やします。でも大人になったら、いのちの時間をぜひ人のために使ってほしい。そうすることでいのちは輝きます。心が育ちます。」

そう、いのちとはあなたが使える時間です。その時間の使い方によって、いのちの質は随分と変わってきます。つまりどんな時間の使い方をしたかで、その人の人生が決まります。そして、自分の時間を人のために使ってこそ、初めて自分の人生は輝き、豊かなものになるのです。

私は、もう 50 歳半ばですから、皆さんと比べて、使える時間は限られています。でも、残りの時間を、自分のためはもちろんのこと、家族のため、友達のため、学校にいる子どもたちのため、周りにいる人のため、ひいては社会のために使いたいと思っています。

そして、自分が亡くなるとき、誰か一人でも「ありがとう」と言ってくれたら、私の人生は花マルだと思っています。さらに「あなたに出会えて良かった」と言ってくれる人が一人でもいたならば、最高の人生だと思っています。

最後に一つの詩を紹介します。

「あなたが何気なく生きた今日は、昨日亡くなった人が、どうしても生きたかった明日」
亡くなった友の分も、精一杯生きようと思います。

特集 《心の健康教育》

多可町では、小中 9 年間を通して「心の健康教育」に取り組み、ソーシャルスキルとして、自分自身の心の動きの把握や、ストレスコーピング、他者との関わり方について、学期に 1 回ずつ学びを深めています。その取り組みの一端を紹介します。

①多可町教職員研修会（心の健康教育）

11月20日（水）、午後から、多可町内の全教職員が「心の健康教育」の研修を受講しました。今回の研修では、兵庫教育大学名誉教授の富永良基先生のもとで、実際に心のサポート授業を受けました。めあては「自分のストレスを知り、対処法を学ぼう」です。まず、生徒の立場でストレスチェックをし、その場でそれぞれのアドバイスシートが配布され、各自の対処方法について助言を受けました。その後、眠れない時、試合・発表・テストのストレスを感じる時どう対処するかをテーマに、グループワークを行いました。また、対処法の一つとして身体的なリラクゼーション方法についても実際に体験し、その方法について学びました。学びの成果を、ぜひ指導に取り入れていきたいと思っています。



②1年生、心の健康教育（アサーション）

11月22日（金）、1年生が養護担当のK先生の指導のもと、心の健康教育の授業に取り組みました。めあては「状況を見て、ベストな言い方を考えよう！」です。これは、アサーション（非攻撃的自己主張）という手法で、相手との関係を上手に築きながら、自分の想いを相手に伝えます。授業では、まず「あなたの言い方アンケート」を実施して、自分の普段の言い方についてその傾向を確認しました。その後「明日、遊びに行かない？」というお誘いを上手に断る方法について、ロールプレイ



を交えながらみんなで考えました。言葉は自分の想いを伝える最大のコミュニケーション方法です。しかし、言葉は一つ使い方を間違えると、自分の意図とは違うふうに相手に伝わってしまったり、相手が受け入れることが感情的に難しかったりします。学んだアサーションを実際の生活の場で、どんどん意識して使っていきましょう。

③2年生、心の健康教育（アンガーマネジメント）

11月14日（木）、2年生が「心の健康教育」でアンガーマネジメントの学習を行いました。指導者は養護担当のK先生です。怒りの感情は、自分を守るためにある感情でごく当たり前の感情です。しかし、最もパワフルな感情であるがゆえに、怒りにまかせてのキツイ言い方や暴力はトラブルの元。時には人間関係を壊してしまったり、人生を狂わせることにも繋がりがねません。そこで、自分の感情と上手に付き合い、怒りを感じたときの対処方法を学ぶことが必要です。怒りは後から湧き上がる感情（二次感情）で、怒りの前には必ず怒りの原因となった本当の気持ち（一次感情）が隠れています。難しいのはこの一次感情が一瞬で二次感情に結びついてしまうことです。そのため授業では、この本当の気持ちを言葉にすること（言語化）で怒りに結びつけないこと、そして、二次感情である怒りを爆発させないための方法を「怒り爆発STOP大作戦」として学びました。Sは深呼吸（10秒呼吸）、Tは立ち去る（その場から離れる）、Oは落ち着きグッズ（心を落ち着かせるグッズ）、Pはプルプル（腕や肩に力を入れて5秒我慢）です。大切なことはこの学びを日常生活に中で活かしていくこと。アサーティブな言い方（Iメッセージ）で、相手のことも考えつつ自分の意見を伝える練習を心がけてみましょう！



④3年生、心の健康教育（自分のコーピングのタイプを知ろう）

11月21日（木）、3年生が、養護担当のK先生の指導のもと、心の健康教育の授業で「自分のコーピングタイプを知ろう」の学習に取り組みました。まず、これまでのストレスコーピングの学びを復習し、同じ出来事でも認知の仕方によりストレスが変わってくることを確認しました。その後TACアンケートにより、自分自身のストレス対処法の傾向をチェックしました。対処傾向はレーダーチャートで示されます。例えば自分の傾向が、ストレスに対して直接働きかける「問題焦点型」なのか、ストレスに対する感じ方、捉え方を変えて気持ちを安定させる「情動焦点型」なのか等、自分のストレスコーピングのタイプが一目瞭然です。自分の認知のクセを知り、認知（つぶやき）を少し変えるだけで、感情（反応）を変えることができます。今の自分のストレス対処法だけでなく他のストレス対処法を試してみて、少しずつコーピングの種類を増やしていくと良いかもしれませんね。学びを活かして、心も体もしなやかに受験も乗り越えていってほしいと思います。



11月の教育活動など

<1年生、合同レクリエーション>

11月7日（木）、午後から1年生が町内3中学校合同レクリエーションを行いました。前回の野外活動から半年ぶりの160人での再会です。今回は各学校の生徒が一つずつレクリエーションを企画し、運営しました。中町中は大縄跳び、八千代中は多可町クイズ、加美中はジャンケン列車でした。最初こそ緊張した様子でしたが、前回よりも互いに打ち解け、笑顔あふれる温かい会となりました。



<薬物乱用防止教室>

11月12日（火）、講師に学校薬剤師であるF先生をお招きし、2年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。体調を崩したとき等お世話になっているけれど、意外と知らない薬の世界。前半は薬の種類や正しい服用方法のポイントについて教えてもらいました。時間・量・回数は、その薬が最も効果があるように設定されており、そのとおりにきちんと服用することで主作用が最大限に発揮されます。例えば錠剤などは、コーティングによって溶けるスピードが違い、どこの臓器で吸収されるかを考えて作られています。また、薬を服用する際、何で飲むかによっても効果が違います。水と緑茶を使った実験でも大きな差が出て、みんな驚きました。後半は、オーバードーズ（薬の過剰接種）や薬物の恐ろしさについて学びました。脳の萎縮など、これらの身体に与える悪影響や依存性はとても深刻です。また未成年者が、ゲートウェイドラッグ（入門薬物）といわれる飲酒、喫煙に手を出すことは、薬物に安易に手を出す第一歩となることが多いようです。ゲートウェイドラッグに誘われた際の断り方についても教えてもらいました。自分の健康と体を自分で守る。有意義な学びとなりました。



<生徒会「ポッカぽこ～伝えよう magic words！！～」>

現在、生徒会が「ポッカぽこ～伝えよう magic words！！～」に取り組んでいます。この取り組みは、普段、なかなか素直に言えない「ありがとう」をメッセージにして友達に届けて、心があたたかくなる中町中を創ろうと企画したものです。先週は、毎日、終わりのHRで、各クラスの班長が班員一人ずつに「ありがとう」を伝えています。11月28日（木）には、昼休みに全校生がクラスの友達に「ありがとう」を伝えるメッセージ書きを行いました。ハート型のメッセージカードには、思い思いの「ありがとう」が記入されました。今後メッセージカードを、各クラスのイメージカラーの風船にはり付け、本館一階の廊下に掲示する予定です。



<3年生、思春期講座>

11月29日（金）、去年に引き続き助産師のFさんにお越しいただき、3年生にお話しをしていただきました。生徒の皆さんも、将来、多くの人がお付き合いする人が出てきたり、パートナーと一緒に暮らすようになったり、結婚したりすることでしょう。その際、この「性」の問題を切り離すことはできません。今、世の中にはネット上でもたくさんの「性」の情報が溢れており、正しい情報もありますが間違った情報もたくさんあります。時には間違った情報を信じて、望まない妊娠など自分自身を傷つけてしまう人もいます。また、大切なパートナーを傷つけてしまう人もいます。自分の「心」と「体」を「守る」ためにも、そして、同じようにパートナーの「心」と「体」を大切にするためにも、まず正しく知ってほしいと思います。今日は、男性と女性、それぞれの体の仕組みの違い、妊娠のメカニズム、そして出産や避妊についてお話しいただきました。出産をスムーズに行えるようサポートされている助産師ならではの視点で、生命誕生の奇跡や出産サポートの大変さについてお話しいただきました。自分がここに生きていることのありがたさ、自分を生んでくれた母親への感謝の気持ちを感じる会にもなりました。ぜひご家庭でも、お子さんの生まれた日のことを話していただければと思います。



<躍進、女子ソフトテニス部（県新人大会）>

11月3日（日）、赤穂海浜公園テニスコートで開催された県新人大会の個人戦で、H・Kペアが勝ち

進み、大いに会場を沸かせました。兵庫県下の各地区予選を勝ち進んだ選手たちによるこの大会、例年、高いレベルの攻防が繰り広げられます。長谷川・近藤ペアは、1回戦対塚口中、2回戦星和台中と、H選手の球持ちの良いストロークとK選手の巧みなネットプレーを武器に接戦をものにし勝ち進みました。迎えた3回戦対大津中、勝てば長浜ドーム（滋賀県長浜市）で開催される近畿大会をかけたの試合。序盤にリードを許し、それを追う展開の中、粘り強く1ゲームを奪い返しましたが、善戦及ばず惜敗。敗れはしましたが、強豪校相手によく戦い抜きました。この活躍は自信になったことと思います。今後、さらに練習を積み、さらに実力に磨きをかけましょう。



<快進撃、女子剣道部！（県新人大会）>

11月23日（土）、姫路市にある県立武道館で開催された剣道の団体戦で、本校女子剣道部が大活躍を見せてくれました。凜と張り詰めた空気の中、竹刀のぶつかる音と気合いの入った声が交錯します。息をつく間もない真剣勝負を繰り広げ、1回戦対豊岡北中、2回戦対増位中、3回戦上郡中と、相手に1本も許さない快進撃をみせました。迎えた準々決勝では、同じ東播地区の代表である平岡中（加古川市）。勝てば県大会ベスト4、近畿大会をかけたの対戦となりました。手に汗握る接戦を繰り広げましたが、惜しくも敗れました。中学校に入ってから竹刀を握った部員が大半であり、この成績はまさに日々の稽古の賜物と言ってよいでしょう。県ベスト8に胸を張り、さらに高みを目指して稽古に励んでほしいと思います。



<進路決定に向けて>

11月5日（火）、体育祭を終え、いよいよ新たなスタートです。特に3年生は進路決定に向け気持ちを切り替え、新たなスタートを切りました。さっそく朝の学活の時間に学年集会を開き、学年主任から進路に向けて話がありました。真剣な面持ちで話を聴く姿勢から、彼らの本気を感じます。一日一日を大切に目標に向かって、努力あるのみです。頑張れ、3年生！！



①3年生、実力テスト

11月11日（月）、3年生が実力テストに臨みました。これまでの学習の成果を把握し、今後の進路選択に活かすことになるこのテスト。学校行事で忙しい中、このテストに向けてコツコツと学習に取り組んでいました。緊張感のある中、一問でも正解しようと時間ギリギリまで必死に鉛筆を走らせていました。3年生は、先週はオープンハイスクール、今週末は進路学習会と、一気に受験モードに突入です。自分の進路を切り拓くため、逃げることなく突き進んでほしいと思います。



②3年生、進路説明会

11月15日（金）午後、3年生の生徒と保護者対象で進路説明会を開催しました。いよいよ3年生は具体的に進路先を決めなくてはならない時期に入ってきました。これは、義務教育を修了し、自分自身で進路選択ができる年齢になったということでもあります。これからはいよいよ進路に向けて意思決定と総仕上げの時期です。



説明会では、進路決定までの流れや現在の入試制度について、学年担当より説明させていただきました。入試制度については、公立高校だけでも、特色選抜や推薦入試、複数志願選抜など複雑な仕組みとなっており、生徒たちも真剣な表情で一つ一つ確認していました。私立高校や公立推薦・特色選抜の受験先決定まで約1か月、今日の説明会の内容をご家庭でも確認し、進路決定に向けて準備をしていただきたいと思います。質問等がございましたら、各担当に遠慮なくお尋ねください。

③ 2学期期末考査

11月25日（月）～27日（水）にかけて、2学期の期末考査を行いました。2学期の学習がどれくらい身についているかを確認するこのテスト。2学期の間、生徒たちは各教科、単元ごとに単元テストを受験し、スモールステップで学習を積み上げてきました。その複数の単元をまとめて、再度、その力が定着しているかを確認します。この考査に向けて、コツコツと努力をしてきた生徒も多いです。特に3年生は、自分の進路にも大きな影響を与えるこの考査に、真剣勝負で挑みました。休み時間も寸暇を惜しんで確認をする姿が見られました。1、2年生も提出物もしっかりと提出した生徒が多く、当たり前のことをやり切る姿勢が育ってきています。



お知らせとお願い

《マラソン大会のお知らせ》

長い距離を走破する強い精神力と持久力を養うこと、授業や部活動で鍛えた成果を試すこと、友だちと相互のがんばりを認め合うことを目的に、校内マラソン大会を下記のとおり実施します。ご都合がございましたら、コース沿いで応援をよろしくお願いいたします。



○日 時：令和6年12月20日（金） 小雨決行

○時 程：女子発走（9時15分）、男子発走（10時15分予定） ※変更の場合もあります。

「丘山通信11月号 返信欄」から

【1年生】

- ・文化祭・体育祭、とても楽しかったです。子供達が主となり、作り上げた知り感動しました。小学校の時とは、全く違う迫力があり、成長を感じました。来年も楽しみです。次は、期末考査です。1学期の時に、悔しい思いをした教科を克服できるように、頑張ってください。
- ・文化祭も体育祭も、とても楽しかったようです。決められたクラスで1つなり取り組むことは、大変だと思います。けど、それを乗り越えると感動がうまれます。達成感も味わうことができたと思います。どんどん成長していく姿がかっこいいです。
- ・初めての文化祭・体育祭を経験し、小学生の時には味わえなかった刺激をたくさんもらった様に思います。普段、あまり学校の事を話さないわが子ですが、文化祭や体育祭の話は、時々してくれて、頑張っている事が伝わってきました。
- ・体育祭の綱引きは、絶対勝つぞ！という意気込みが感じられ、すばしかったです。しかし、文化祭・体育祭ともさすが3年生、やっぱりかなわないなと思いました。
- ・体育祭、前日までダンスが苦手で心配していましたが、楽しそうにおどっていたので安心しました。次は期末テストにむけてがんばってほしいです。
- ・初めての体育祭でしたが、とても良い表情で参加している姿を見て嬉しく思いました。全校生によるダンスは、日々の練習を沢山頑張っていたんだらうなと感じ感動しました。全員参加のリレーがなかったことが少し残念でした。
- ・2学期になり、文化祭、運動会と中学校に行くことが多くあり、子供たちのすばらしい姿を見ることができ、とてもうれしくおもいました。中学生らしく、楽しみ、協力し、努力する姿に感動しました。

- ・体育祭も開催でき、本人も楽しみにしており頑張っていたのでうれしかったです。家でもダンス等一生懸命練習していました。これからテスト期間に入ります。勉強の方に集中してもらいがんばってほしいと思います。
- ・体育祭、最初の行進がそろっていて、小学生の頃とは違うなあと成長を感じました。何もかも迫力があり、応援も力が入りました。みんな一生懸命練習したことが伝わり、とてもいい体育祭でした。みんなの努力にハナマル/
- ・はじめての体育祭、すばしかったです。なわとびも1回目、たくさんとべて安心しました。今後の活やかに期待します。
- ・文化祭、自分の子を見に行っただけですが、先生が色々な楽器をされていて、しかも上手だったので先生ばかり見てました(笑)
- ・初めての体育祭、楽しくみさせて顶きました。生徒達もとても楽しそうに、生き生きとした表情で、見ているこちらも楽しくなりました。ただ、リレーに関しては、クラス対抗であったり、全員、走ってほしいです。走る人数が、多いほど、盛り上がると思うし、来年以降、検討をお願いします。
- ・体育祭楽しく見ました。最初の入場行進は吹奏楽部を先頭に全員一周まわってほしいです。先生の二刀流がすごい!! 大縄見てる側もドキドキしました。生徒会ダンスとても素敵でした。皆が一生懸命取り組んでいる姿にとっても感動しました。おつかれ様でした。先生方ありがとうございます。
- ・楽しみにしていた文化祭、とてもがんばっていました。どの学年の生徒も真面目に取り組んで 楽しそうにしている姿に中町中に通わせて良かったと感じました。

【2年生】

- ・体育祭、生徒が主体となって取り組んでいる姿に感動しました。今しか出来ない経験をしてほしいなと思います。
- ・文化祭、新人戦、体育祭 頑張る姿を見て感動し 楽しそうにしている姿を見ると安心し 私ももっと頑張らないと!! と子どもからエネルギーをもらった2学期でした。次は大事な期末テスト、、前回よりも良い結果でありますように。
- ・体育祭が大雨で中止になり翌日もできるかどうか不安でしたが晴天に恵まれ開催できて良かったです。学年演技では本番でころばないか不安がっていましたが、ころぶことなく走っていました。綱引きや大縄、ダンスもよく頑張っていました。
- ・体育祭、よく頑張りました。今月は期末テストにマラソン大会、体調を整えて頑張ってください。丘山通信、ボリュームがありすぎて、ちょっと読むの大変です🌀
- ・体育祭、毎日ダンスの練習をしていて、当日もとても楽しそうでした! 次は期末テスト、こちらも全力で取り組んでほしいです。
- ・期末テスト頑張ってください。
- ・11月に体育祭は少し寒いかな? と思っていたけど、お天気に恵まれて開催されて良かったです。今年は、リレーが1種目少なくなっていて、残念でしたが、どの競技も、ダンスも一丸となって頑張っている様子が見られて良かったです。
- ・体育祭が終わりました。「ダンスがムズいねん」と補習を受けていたようですが、当日は皆と合わせ踊る姿を見ることができました。又、競技説明の放送をしようと言っていたのでドキドキしましたが無事役目を果たし競技に戻る姿を嬉しく思いました。みんなと協力し、勝利することができ、良い思い出になったようです。ありがとうございました。
- ・文化祭、体育祭と大きな行事がおわりましたが、一致団結している姿がすばしかったです。
- ・体育祭とても良かったです。クラス毎に色々作戦があったみたいで、とても楽しませてもらいました。ダンスも見入ってしまうくらい、素敵でした。当日は子供たちが主体で動いていて、感心しましたが、その為の先生方のサポートがあってこそだと思います。ありがとうございました。
- ・もうすぐ、県大会。がんばれ!!
- ・2学期の充実した様子が良くわかります。合唱コンクール拝見しましたが、どのクラスも力のこもった合唱で大変素晴らしかったです。
- ・今年の体育祭も子ども達の一生懸命に頑張る姿を見ることができて嬉しかったと同時にまた一つ成長を感じることができました。祖母も一緒に見に行っていて、「体育祭良かったわ」と喜んでいました。家族みんなで応援に力が入ってしまう程、みんなの頑張りに拍手!!!

- ・体育祭、楽しく見させてもらいました。大縄とび、なかなか続かず見ていてもどかしく感じましたが、それはそれで楽しかったです。全校生徒のダンスもよくがんばっていたと思います。お疲れさまでした！
- ・文化祭、体育祭と盛り沢山の 10 月、11 月でした。文化祭では一生懸命に歌う姿、ステキな歌声に感動しました。体育祭も短い期間での練習でたくさん覚え、きっと最高の体育祭になったんでしょう。子供達のイキイキとした姿、楽しんでいる姿、生徒達と一緒に楽しんでいる先生方の姿を見て嬉しく思いました。11 月は期末があるので、切り替えて次は学習の方をしっかりと取り組んでほしいです。

【3 年生】

- ・体育祭おつかれさまでした。無事に終えられてよかったですね。
- ・孫の最後の体育祭、よかった。応援にも、力が入りました。1 年生から3年生までとても素晴らしかった。短い間に、ダンスも覚えて、見て、私も楽しかったです。感動しました。ありがとうございました。赤組、白組、万歳！！
- ・文化祭、体育祭と生徒たちががんばっている姿に感動しました。3 年生にとっては、大切な時期になってきます。自分にとって良い選択ができるようにしっかりと準備してほしいです。毎日の学校生活も大切にしてください！！
- ・文化祭、体育祭と本当にすばらしく感動しました。まさに集大成と言えるものだったと思います。すべてに無駄な動きがなく見ていて気持ちがよかったです。ありがとうございました。
- ・文化祭も体育祭もとても楽しく見させていただきました。ありがとうございました！我が子だけでなく、幼い頃から知っている子もたくさんいるので、子供たちの成長ぶりに感動しました。残りの中学校生活も友だちとの時間を大切に、楽しく過ごしてほしいです。
- ・文化祭・体育祭と全力で頑張っていました。ここからは受験にむけて気持ちを切り替えてほしいと思います。
- ・さすが3年生！と思わされた文化祭と体育祭でした。子ども達のパワーは、すごいです。クラス全員が本気で取り組んでいた大縄跳びには、本当に感動しました。こんな経験は、大人になるとなかなかできないので、3 月までの貴重な時間を大切に過ごしてね。
- ・体育祭、とても楽しく観覧できました。中でも、3 年生学年演技の「n + 1」子供達はコケまいと必死だったと思いますが、見ているコチラは笑いが止まりませんでした。最高でした。青空のもと、みんなの笑顔がまぶしかったです。
- ・中学校生活、最後の文化祭と体育祭、どちらもクラスメートと力を合わせて、良くがんばっていたと思います。ありがとうございました。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。体育祭は不本意な結果となってしまいましたが3年間の中で1番、見応えのある体育祭でした。ダンスも短い期間でよくあそこまでつくりあげて感心しました。次は進路決定。夢を叶えるために全力でがんばってほしいです。陰ながら応援しています。
- ・いつもありがとうございます。中学生最後の運動会、みんなの頑張る姿を見て感動しました。先生方に感謝します。今から寒くなる時季ですので、教室などでもウインドブレーカー着用できる様検討して頂けませんか？よろしくお願いします。

(学校より)返信、ありがとうございます。コロナ禍で換気のために前後の窓を大きく開けていた時期には、ウインドブレーカーの着用を許可しておりました。この件につきまして学校でも協議をしましたが、ウインドブレーカーはあくまで外套着であり、マナーとして室内で着るものではないということ、また、11 月下旬にストーブが設置されるまでの期間はエアコンも入っており、寒い日には朝から稼働させていることから、教室内での着用は必要ないと考えております。もちろん、体育館等で寒い時期は気温により着用を可としておりますし、体調不良等で申し出があればウインドブレーカーや膝掛けなどの使用も認めています。個別に対応いたしますので、その際は教員までお声かけください。

キ リ ト リ 線

《第9号（12月）返信欄》

年 組 番 氏名 () の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉 (掲載可 どちらでも 掲載不可)

